

報道関係各位

2021年6月11日  
株式会社クロス・マーケティング

## 最初の緊急事態宣言から約1年、多数の分野で消費が回復傾向 一方、景況感は依然厳しく、時間が必要か

－消費動向に関する定点調査(2021年5月度)－

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国47都道府県に在住する20～69歳の男女を対象に「消費動向に関する定点調査（2021年5月度）」を実施しました。

### ■調査目的

消費動向調査は、現在の消費者の暮らしの状況を、所得・消費・行動の観点で過去と比較し、景気動向判断の基礎資料を得ることを目的とし、年2回（5月・10月）実施しております。

本調査においては、未だコロナ禍の収束が見通せない21年5月の、全国1,200人の生活実態や消費動向の推移、景況感を調査しました。また今回はコロナ禍における各種支援制度の利用状況についても調査いたしました。

※本調査とは別に、2020年3月より新型コロナウイルスによる生活者の動向変化を観測するため、緊急調査（新型コロナウイルス生活影響度調査）を継続して行っております。

### ■調査結果（一部抜粋）

- 【生活実態・消費動向の推移】生活実態について、今回調査では「労働時間」が前年同期より24pt上昇と大きく回復。また「自宅で過ごす時間」も28ptの下落となり、コロナ前の状況にやや近づき始めた。10都道府県で緊急事態宣言下となった今回は、最初の緊急事態宣言下となった昨年同期(20年5月)よりも人の移動が増え、行動や消費がやや活発化してきている様子がうかがえる。また消費動向については、多数の分野で過去最低値を記録した20年5月時点と比較したところ、回復傾向であった。特に回復した分野では「ファストファッションストア・ショッピングモール・ファストフード・カフェの利用頻度」で、いずれも20年5月から20pt以上上昇した。なお、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の延長の影響もあり、「海外/国内旅行、衣類/アクセサリの購入金額、内食」などの一部の消費においては、引き続き横ばい状態がみられる。<図1・図は一部の項目のみ掲載>
- 【今後の景気の見通し】今後1年間の景気の見通しについて、「悪くなると思う」と回答したのは全体の52%であった。最初の緊急事態宣言下となった20年5月時点よりも、「良くなると思う」との回答も微増し、景気悪化を懸念する割合は減少したものの、半数近くはまだ先行き不安が残るといった状況。生活実態・消費動向は回復傾向にある一方で、景気回復まではまだまだ時間が必要といった様子がうかがえる。<図2>
- 【コロナ禍での支援制度の利用状況】昨年から現在までの間に、個人・事業者・学生向けに多様な支援制度が設けられたが、実際にコロナの影響で利用したものについて聴取したところ、支援制度の利用経験は12%であった。利用した支援制度としては、個人向け支援が最多の9.3%で、「失業手当」が最も多い。また、事業者向け支援は3.7%、学生向け支援は0.5%であった。<図3>

◆詳細情報は本レポートに掲載しております。 <https://www.cross-m.co.jp/report/exp/20210611exp/>

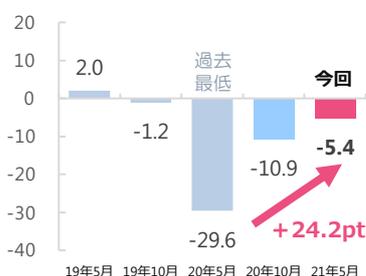
### <図1> 生活実態・消費動向DIの推移（経年比較）

\* 直近5回分のDI値のみ抜粋して掲載  
\* DI値：「増えた」の回答比率-「減った」の回答比率

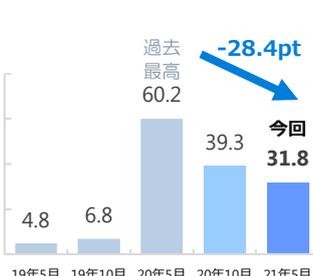
生活実態：緊急事態宣言の状況下を反映。ただし20年5月時点よりは緩和しておりコロナ前に近づいている状況。

消費動向：20年5月時点よりも大幅な下落はみられず、多数の分野で回復傾向

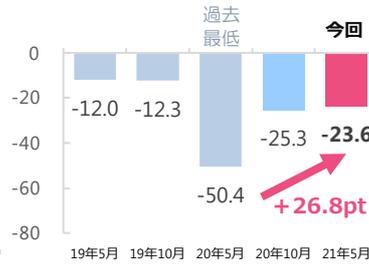
#### 労働時間



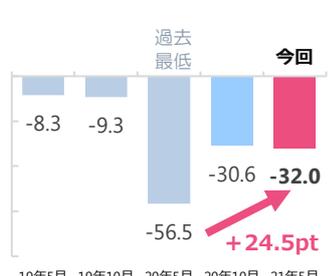
#### 自宅で過ごす時間



#### ファストファッションストア利用頻度



#### ショッピングモール利用頻度



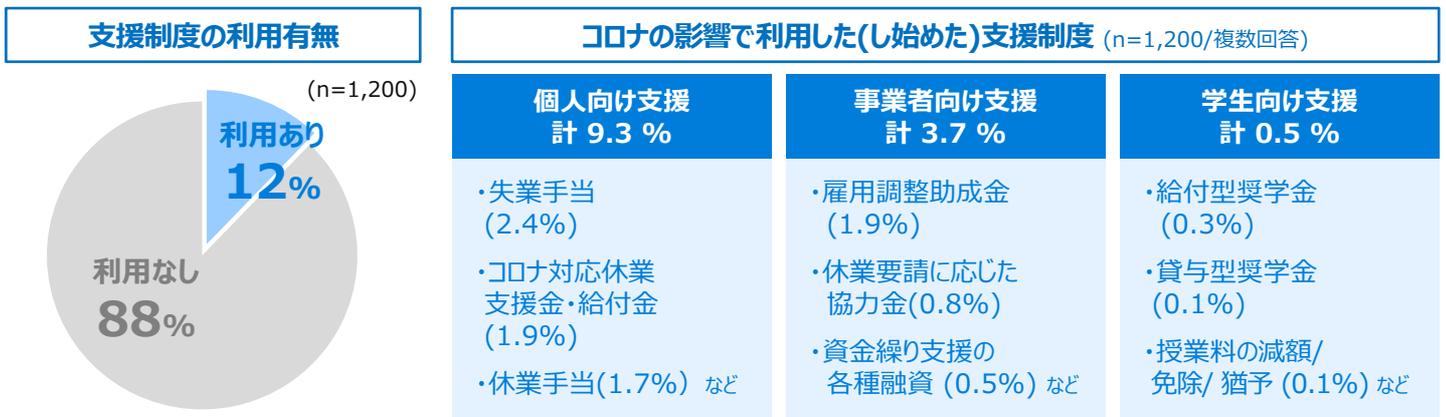
<図2> 今後の景気の見通し

今後1年間の景気の見通し			(%)		
			良くなると思う	変わらないと思う	悪くなると思う
	n=				
2019年5月	1200	5.3	44.1		50.6
2019年10月	1200	5.4	49.5		45.1
2020年5月	1200	9.8	21.1		69.1
2020年10月	1200	10.1	38.8		51.1
2021年5月(今回)	1200	13.8	34.5		51.7

※今後1年間の景気が「変わらないと思う」、「悪くなると思う」と回答した人ベース

何年後に景気が良くなると思うか						(%)					
						2年後～5年未満	5年後～10年未満	10年後～20年未満	20年後～	わからない	
	n=										
2019年5月	1136	5.2	4.0	2.0	2.1					86.7	
2019年10月	1136	3.6	3.0	3.6	1.8					88.0	
2020年5月	1082		21.3	8.8	3.0	1.7				65.2	
2020年10月	1079	14.6	8.5	4.1	0.8					71.9	
2021年5月(今回)	1034	16.5	9.8	3.5	1.4					68.9	

<図3> コロナ禍での支援制度の利用状況



■レポート目次

- 調査概要
- 生活実態の前年同期との比較
- 生活実態の推移
- 消費動向の前年同期との比較
- 消費動向の推移
- 今後の景気の見通し
- 各種支援制度の利用状況
- 支援活動や応援プログラムの利用状況

◆レポートダウンロードはこちらから <https://www.cross-m.co.jp/report/exp/20210611exp/>

■調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ  
 調査地域 : 全国47都道府県  
 調査対象 : 20～69歳の男女  
 調査期間 : 2021年5月21日(金)～24日(月)  
 有効回答数 : 本調査1,200サンプル (人口構成比に基づいて割付) ※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>  
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F  
 設立 : 2003年4月1日  
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹  
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275  
 E-mail : [pr-cm@cross-m.co.jp](mailto:pr-cm@cross-m.co.jp)

≪引用・転載時のクレジット表記のお願い≫

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

<例> 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」